

報告事項エ

平成25年度学校保健統計調査結果について

平成25年度学校保健統計調査結果について、別紙のとおり報告します。

平成26年1月17日

鳥取県教育委員会教育長 横濱 純一

平成25年度学校保健統計調査結果について

スポーツ健康教育課

1 調査の目的

文部科学省が所管する基幹統計調査であり、学校における幼児、児童及び生徒の発育状態及び健康状態を明らかにすることを目的とする。

2 調査の範囲・対象

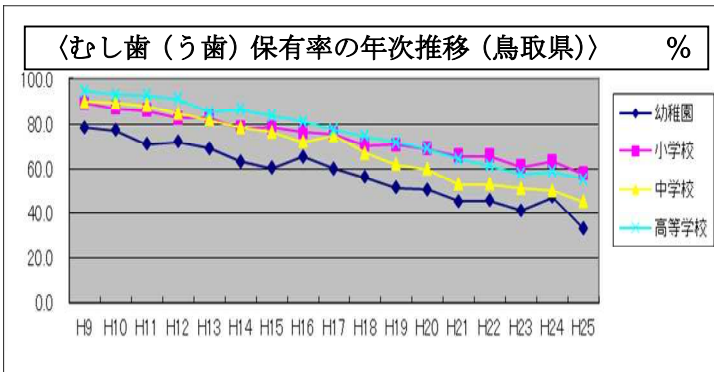
文部科学大臣が指定した県内142校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校）に在籍する5歳から17歳（平成25年4月1日現在）までの幼児、児童生徒の一部。
（抽出率 発育状態：19.2%、健康状態：71.6%）

3 調査結果の概要

別添「平成25年度 学校保健統計調査結果（鳥取県）速報」のとおり

4 特記事項

- ・う歯保有率は、本県の年次推移を見ると、どの学校区分においても減少傾向にあるが、全国平均値と比べた場合、幼稚園以外は高い状況である。



	H24 (%)		H25 (%)	
	鳥取県	全国	鳥取県	全国
幼稚園	47.3	43.89	33.0	▼ 39.51
小学校	63.2	57.44	57.6	54.14
中学校	50.1	44.56	45.0	44.59
高等学校	58.6	55.62	55.3	55.12

※▼：全国平均値と比較して数値が低いもの

- ・裸眼視力1.0未満者の割合は、昨年度と比べると県全体では幼稚園を除く全ての学校区分において増加している。また、全ての学校区分において全国平均値より高い状況でもある。
- ・ぜん息の疾患率は、昨年度と比べると県全体では小学校・中学校・高等学校において減少しているが、全国平均値と比べた場合、全ての学校区分において疾患率が高い状況である。
- ・鼻・副鼻腔疾患の者の割合は、昨年度と比べると県全体では中学校で減少しているが、それ以外は増加している。また、全国平均と比べた場合、小学校・中学校・高等学校で高い状況である。
- ・アトピー性皮膚炎の者の割合は、昨年度に比べると県全体では小学校・中学校・高等学校において減少しているが、全国平均値と比べた場合、全ての学校区分において疾患率が高い状況である。

(%)

区分	裸眼視力1.0未満					ぜん息					鼻・副鼻腔炎					アトピー性皮膚炎					
	鳥取	H24	H25	H25 対前年	全国	鳥取	H24	H25	H25 対前年	全国	鳥取	H24	H25	H25 対前年	全国	鳥取	H24	H25	H25 対前年	全国	
県計	幼稚園	32.0	28.4	24.53	-3.6	3.87	1.9	3.5	2.13	1.6	1.37	0.1	0.4	3.44	0.3	-3.04	3.6	4.3	2.39	0.7	1.91
	小学校	30.9	31.0	30.52	0.1	0.48	6.3	5.9	4.15	-0.4	1.75	12.9	16.4	12.07	3.5	4.33	7.1	5.6	3.06	-1.5	2.54
	中学校	54.5	57.8	52.79	3.3	5.01	4.4	3.7	3.22	-0.7	0.48	20.3	17.6	11.11	-2.7	6.49	4.6	3.7	2.48	-0.9	1.22
	高等学校	66.3	70.4	65.84	4.1	4.56	3.3	2.7	1.90	-0.6	0.8	8.4	11.3	8.74	2.9	2.56	4.4	3.2	2.14	-1.2	1.06
男子	幼稚園	30.7	26.4	24.10	-4.3	2.30	1.8	4.3	2.64	2.5	1.66	-	0.80	4.02	0.8	-3.22	2.8	4.6	2.59	1.8	2.01
	小学校	28.0	28.0	27.34	0	0.66	8.2	7.2	5.02	-1.0	2.18	16.6	20.6	14.86	4.0	5.74	7.6	6.1	3.34	-1.5	2.76
	中学校	50.9	54.3	47.56	3.4	6.74	5.5	4.8	3.90	-0.7	0.9	23.3	20.7	12.90	-2.6	7.80	4.9	3.9	2.70	-1.0	1.20
	高等学校	63.7	68.9	61.25	5.2	7.65	3.7	3.0	2.18	-0.7	0.82	10.1	12.0	9.62	1.9	2.38	4.2	3.3	2.38	-0.9	0.92
女子	幼稚園	33.4	x	24.97	/	/	1.9	2.7	1.61	0.8	1.09	0.1	-	2.84	-0.1	-2.84	4.3	4.0	2.19	-0.3	1.81
	小学校	33.9	34.2	33.84	0.3	0.36	4.4	4.6	3.24	0.2	1.36	9.2	12.0	9.14	2.8	2.86	6.6	5.0	2.77	-1.6	2.23
	中学校	58.3	61.5	58.26	3.2	3.24	3.3	2.5	2.51	-0.8	-0.01	17.1	14.3	9.23	-2.8	5.07	4.3	3.5	2.25	-0.8	1.25
	高等学校	68.8	71.9	70.53	3.1	1.37	2.9	2.3	1.62	-0.6	0.68	6.7	10.6	7.86	3.9	2.74	4.6	3.2	1.90	-1.4	1.30

※ x：標本サイズが小さいため公表しない -：該当者がいない

解 禁 日 時	
テレビ・ラジオ	平成25年12月13日午後5時以降
新聞	平成25年12月14日付朝刊
ホームページ掲載	平成25年12月13日午後6時

資料提供	
平成25年12月13日	
担当課 (担当者)	統計課 (生田憲一郎)
電話	0857-26-7105

平成25年度 学校保健統計調査結果(鳥取県)速報

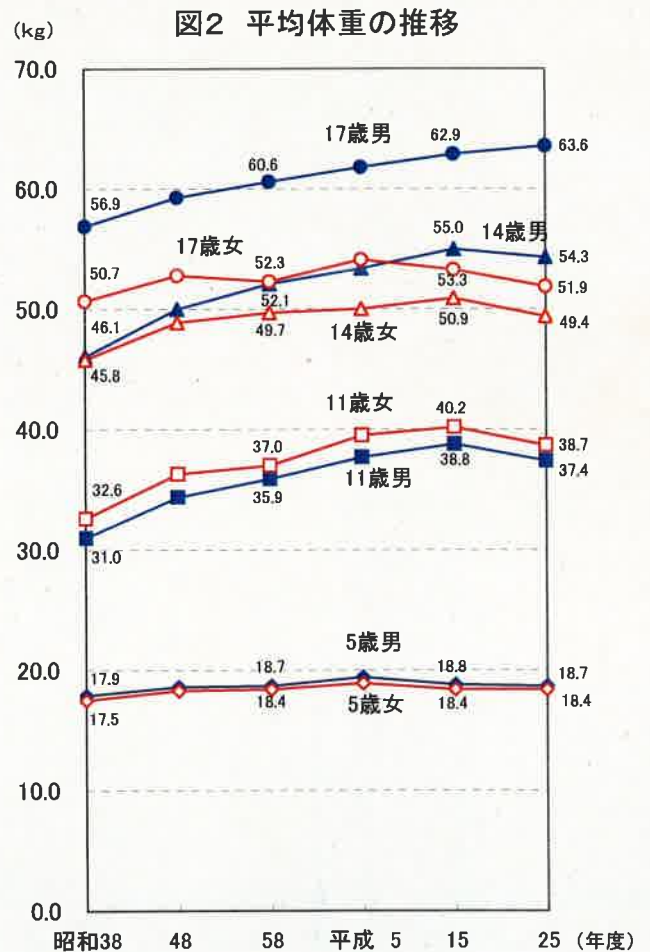
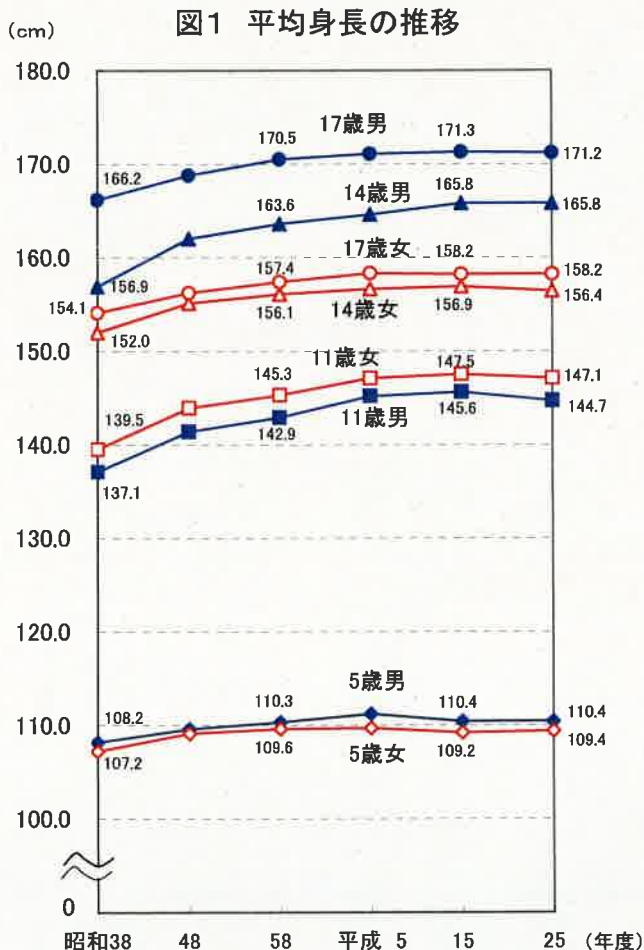
調査の目的等

この調査は、文部科学省が所管する基幹統計であり、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的としている。

平成25年4月1日から6月30日までの間に実施された健康診断の結果に基づき、幼稚園から高等学校に在籍する満5歳から17歳(平成25年4月1日現在)までの幼児、児童及び生徒の一部について実施した。

- ・身長は、30年前(親世代)と比べ、女子の5歳及び6歳を除く全ての年齢で高くなっている。
- ・体重は、30年前(親世代)と比べ、男子、女子の5歳で同水準、女子の14歳及び17歳で減少しているほかは、全ての年齢で増加している。
- ・肥満傾向児の出現率は、全ての学校区分において全国平均値を下回っている。
- ・痩身傾向児の出現率は、高等学校を除く全ての学校区分において全国平均値を下回っている。
- ・「裸眼視力1.0未満」の者の割合は、全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。
- ・「むし歯(う歯)」の者の割合は、幼稚園では全国平均値より低く、小学校、中学校及び高等学校では高くなっている。
- ・前年度と比較すると、全ての学校区分において減少している。
- ・「ぜん息」の者の割合は、全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。
- ・「鼻・副鼻腔疾患」の者の割合は、幼稚園では全国平均値より低く、小学校、中学校及び高等学校では高くなっている。
- ・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。

※30年前(親の世代)は、昭和58年度の数値である。



目次

	ページ
I 調査の概要	1
II 調査結果の概要	2
1 発育状態	2
(1) 身長	2
(2) 体重	4
(3) 座高	6
2 健康状態	8
(1) 前年度との比較	8
(2) 全国平均値との比較	9
(3) 30年前(親の世代)との比較	9
参考	10
表7 都道府県別 肥満傾向児の出現率	10
表8 都道府県別 痩身傾向児の出現率	11

統計表の中の記号は次のように使う

- 「 - 」 ----- 該当者がいない場合
- 「 0.00 」 ----- 計数が単位未満の場合
- 「 … 」 ----- 調査対象とならなかった場合
- 「 x 」 ----- 標本サイズが小さい、または標準誤差が
大きい場合統計数値を公表しない

I 調査の概要

- 1 目的
学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。
- 2 調査の根拠
学校保健統計調査規則(昭和27年文部省令第5号)に基づいて実施される基幹統計調査
- 3 調査の範囲・対象
 - (1) 調査の範囲は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定した学校(以下「調査実施校」という。)
 - (2) 調査の対象は、調査実施校に在籍する満5歳から17歳(平成25年4月1日現在)までの幼児、児童及び生徒(以下「児童等」という。)の一部。
- 4 調査事項
 - (1) 発育状態調査
児童等の発育状態(身長、体重及び座高)
 - (2) 健康状態調査
児童等の健康状態(栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果)
- 5 調査の期日
平成25年4月1日から6月30日までの間に実施された学校保健安全法(昭和33年法律第56号)による健康診断の結果に基づき調査。
- 6 調査実施校数及び調査対象者数
調査実施校数、調査対象者数は次のとおりである。

区分	調査実施校数	発育状態調査		健康状態調査	
		調査対象者数(人)	抽出率(%)	調査対象者数(人)	抽出率(%)
小学校	57	5,256	16.9	19,460	62.6
中学校	36	4,249	25.9	12,387	75.4
高等学校	23	1,991	12.7	13,159	84.2
幼稚園 (5歳児)	26	945	63.6	1,269	85.5
計	142	12,441	19.2	46,275	71.6

- 7 今後の予定について
確定値については、平成26年3月に文部科学省から公表予定。

Ⅱ 調査結果の概要

1 発育状態

(1) 身長

ア 前年度との比較

- ・男子は、6歳、8歳、10歳、12歳、14歳及び17歳で前年度より高くなっている。
- ・女子は、6歳、8歳、13歳、16歳及び17歳で前年度より高くなっている。

イ 全国平均値との比較

- ・男子は、6歳、8歳、9歳、13歳、14歳、16歳及び17歳で全国平均値を上回っている。
- ・女子は、8歳、11歳、13歳、15～17歳の各年齢で全国平均値を上回っている。

ウ 30年前(親の世代)との比較

- ・男子は、全ての年齢において30年前より高くなっている。
- ・女子は、5歳及び6歳で低くなっているほかは、30年前より高くなっている。
- ・最も伸びの大きい年齢は、男子は12歳(152.2cm)で2.6cm、女子は11歳(147.1cm)で1.8cm高くなっている。

エ 男子と女子の比較

- ・10歳及び11歳で、女子が男子を上回っている。

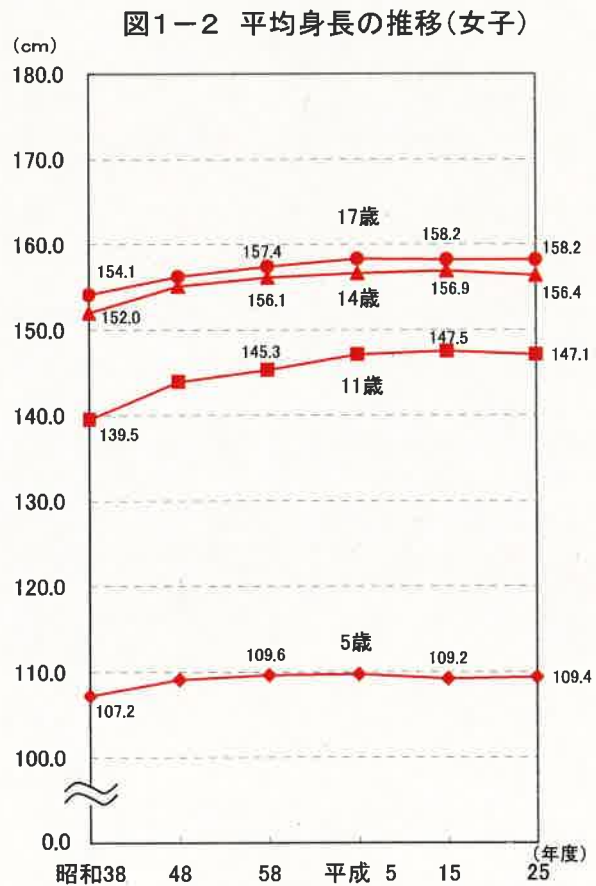
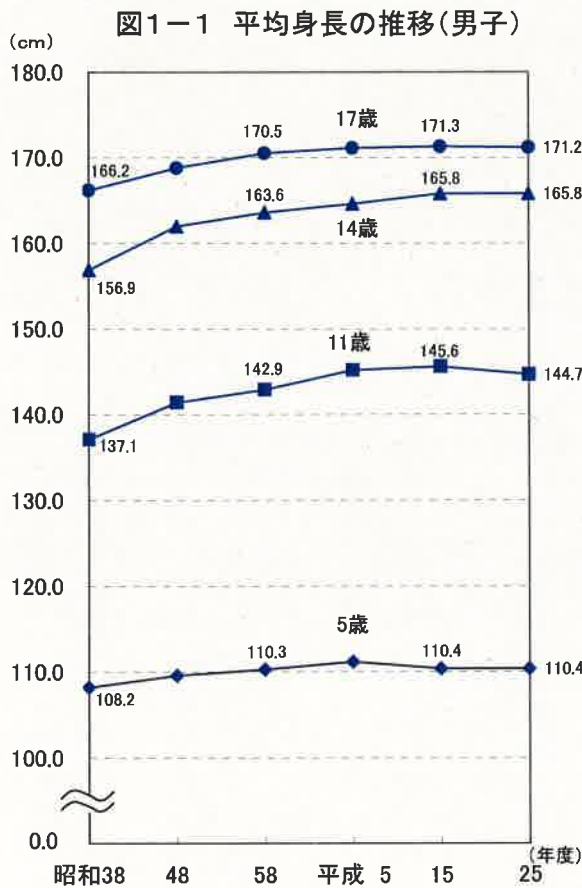


表1 年齢別 身長の平均値

(単位:cm)

区分		平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	前年との差 (A-B)	全国(H25) (C)	全国との差 (A-C)	30年前(親の世代) (D)	親の世代との差 (A-D)	
男子	幼稚園	5歳	110.4	110.4	0.0	110.4	0.0	110.3	0.1
	小学校	6歳	116.9	116.3	0.6	116.6	0.3	116.2	0.7
		7歳	122.0	122.7	-0.7	122.4	-0.4	121.6	0.4
		8歳	128.5	128.4	0.1	128.2	0.3	127.0	1.5
		9歳	133.8	134.0	-0.2	133.6	0.2	132.2	1.6
		10歳	138.8	138.7	0.1	139.0	-0.2	137.7	1.1
		11歳	144.7	144.7	0.0	145.0	-0.3	142.9	1.8
	中学校	12歳	152.2	152.1	0.1	152.3	-0.1	149.6	2.6
		13歳	159.7	159.7	0.0	159.5	0.2	157.5	2.2
		14歳	165.8	165.1	0.7	165.0	0.8	163.6	2.2
	高等学校	15歳	168.3	168.9	-0.6	168.3	0.0	167.6	0.7
		16歳	170.0	170.3	-0.3	169.9	0.1	169.9	0.1
		17歳	171.2	171.1	0.1	170.7	0.5	170.5	0.7
	女子	幼稚園	5歳	109.4	109.5	-0.1	109.6	-0.2	109.6
小学校		6歳	115.4	115.3	0.1	115.6	-0.2	115.5	-0.1
		7歳	121.4	121.8	-0.4	121.6	-0.2	120.7	0.7
		8歳	128.0	127.6	0.4	127.3	0.7	126.7	1.3
		9歳	133.5	133.6	-0.1	133.6	-0.1	132.2	1.3
		10歳	139.6	140.4	-0.8	140.1	-0.5	138.5	1.1
		11歳	147.1	147.2	-0.1	146.8	0.3	145.3	1.8
中学校		12歳	151.8	152.0	-0.2	151.8	0.0	150.9	0.9
		13歳	155.2	155.0	0.2	154.8	0.4	154.6	0.6
		14歳	156.4	156.8	-0.4	156.5	-0.1	156.1	0.3
高等学校		15歳	157.2	157.4	-0.2	157.0	0.2	156.8	0.4
		16歳	158.1	157.7	0.4	157.6	0.5	157.3	0.8
		17歳	158.2	157.9	0.3	158.0	0.2	157.4	0.8

※30年前(親の世代)は、昭和58年度の数値である。

(2) 体重

ア 前年度との比較

- ・男子は、6歳、7歳、9歳、10歳、12歳、14歳及び17歳で前年度より増加している。
- ・女子は、5歳、6歳、8歳、12歳、13歳、15歳及び16歳で前年度より増加している。

イ 全国平均値との比較

- ・男子は、6歳、9歳、14歳及び17歳で全国平均値を上回っている。
- ・女子は、8歳、12歳、13歳、15歳及び16歳で全国平均値を上回っている。

ウ 30年前(親の世代)との比較

- ・男子は、5歳で同水準のほかは、30年前より増加している。
- ・女子は、14歳及び17歳で減少し、5歳で同水準となっているほかは、30年前より増加している。
- ・最も伸びの大きい年齢は、男子は17歳(63.6kg)で3.0kg、女子は11歳(38.7kg)で1.7kg重くなっている。

エ 男子と女子の比較

- ・11歳及び12歳で、女子が男子を上回っている。

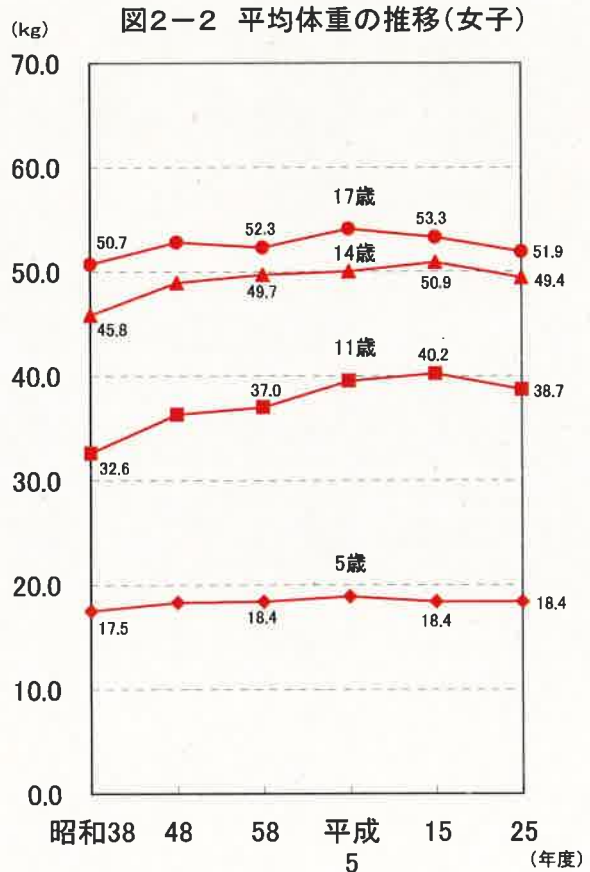
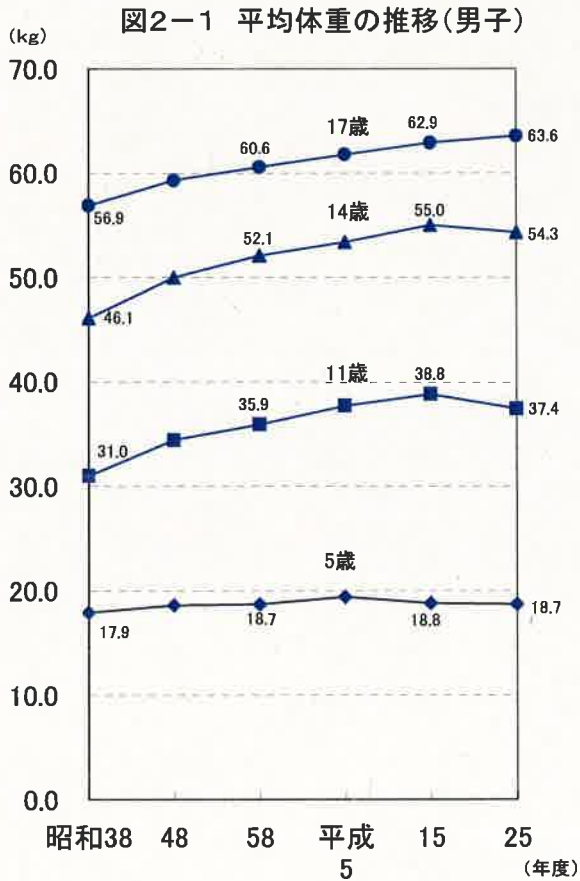


表2 年齢別 体重の平均値

(単位:kg)

区分		平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	前年との差 (A-B)	全国(H25) (C)	全国との差 (A-C)	30年前(親の世代) (D)	親の世代との差 (A-D)	
男子	幼稚園	5歳	18.7	18.8	-0.1	18.9	-0.2	18.7	0.0
	小学校	6歳	21.5	21.2	0.3	21.3	0.2	20.9	0.6
		7歳	23.8	23.7	0.1	23.9	-0.1	23.2	0.6
		8歳	27.1	27.2	-0.1	27.1	0.0	25.8	1.3
		9歳	30.8	30.2	0.6	30.4	0.4	28.8	2.0
		10歳	33.5	33.4	0.1	34.3	-0.8	32.4	1.1
		11歳	37.4	37.6	-0.2	38.3	-0.9	35.9	1.5
	中学校	12歳	43.5	43.1	0.4	43.9	-0.4	40.8	2.7
		13歳	48.5	48.6	-0.1	48.8	-0.3	46.2	2.3
		14歳	54.3	53.4	0.9	54.0	0.3	52.1	2.2
	高等学校	15歳	58.0	59.0	-1.0	58.9	-0.9	56.9	1.1
		16歳	59.5	60.4	-0.9	61.0	-1.5	59.4	0.1
		17歳	63.6	62.2	1.4	62.8	0.8	60.6	3.0
	女子	幼稚園	5歳	18.4	18.3	0.1	18.6	-0.2	18.4
小学校		6歳	20.8	20.6	0.2	20.9	-0.1	20.6	0.2
		7歳	23.3	23.5	-0.2	23.5	-0.2	22.6	0.7
		8歳	27.0	26.3	0.7	26.4	0.6	25.7	1.3
		9歳	29.8	29.9	-0.1	30.0	-0.2	28.8	1.0
		10歳	33.2	34.2	-1.0	34.0	-0.8	32.6	0.6
		11歳	38.7	39.4	-0.7	39.0	-0.3	37.0	1.7
中学校		12歳	43.9	43.5	0.4	43.7	0.2	42.7	1.2
		13歳	47.9	47.0	0.9	47.1	0.8	47.0	0.9
		14歳	49.4	49.7	-0.3	49.9	-0.5	49.7	-0.3
高等学校		15歳	51.6	51.0	0.6	51.4	0.2	51.5	0.1
		16歳	52.8	51.3	1.5	52.5	0.3	52.7	0.1
		17歳	51.9	52.6	-0.7	52.9	-1.0	52.3	-0.4

※30年前(親の世代)は、昭和58年度の数値である。

(3) 座高

ア 前年度との比較

- ・男子は、6歳、12～14歳、16歳及び17歳で前年度より高くなっている。
- ・女子は、6歳、13歳、16歳及び17歳で前年度より高くなっている。

イ 全国平均値との比較

- ・男子は、7歳で下回り、10歳で同水準となっているほかは、全国平均値を上回っている。
- ・女子は、6歳、8歳、11～13歳、15～17歳の各年齢で全国平均値を上回っている。

ウ 30年前(親の世代)との比較

- ・男子は、5～7歳の各年齢で低くなっているほかは、30年前より高くなっている。
- ・女子は、5～7歳の各年齢で低く、10歳で同水準となっているほかは、30年前より高くなっている。
- ・最も伸びの大きい年齢は、男子は12歳(81.5cm)と14歳(88.5cm)で1.5cm、女子は11歳(79.6cm)で1.1cm高くなっている。

エ 男子と女子の比較

- ・10～12歳で、女子が男子を上回っている。

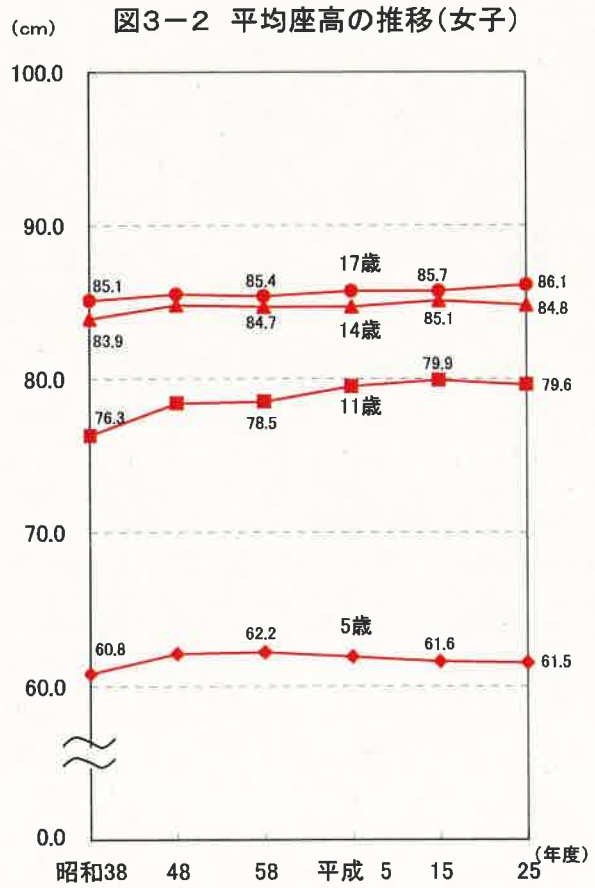
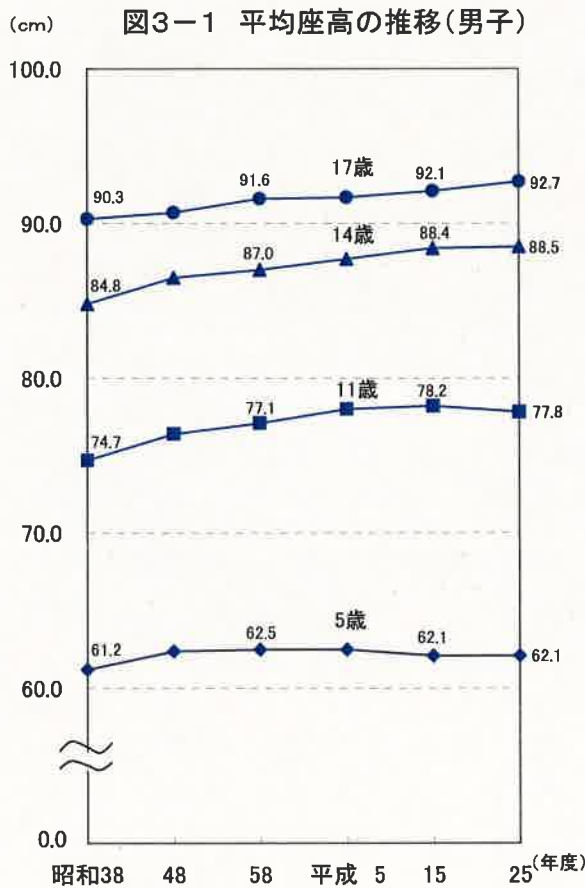


表3 年齢別 座高の平均値

(単位:cm)

区分		平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	前年との差 (A-B)	全国(H25) (C)	全国との差 (A-C)	30年前(親の世代) (D)	親の世代との差 (A-D)		
男子	幼稚園	5歳	62.1	62.3	-0.2	62.0	0.1	62.5	-0.4	
	小学校	6歳	65.0	64.8	0.2	64.8	0.2	65.3	-0.3	
		7歳	67.4	67.8	-0.4	67.6	-0.2	67.8	-0.4	
		8歳	70.5	70.5	0.0	70.2	0.3	70.1	0.4	
		9歳	72.8	73.0	-0.2	72.6	0.2	72.5	0.3	
		10歳	75.0	75.0	0.0	75.0	0.0	74.8	0.2	
		11歳	77.8	77.9	-0.1	77.6	0.2	77.1	0.7	
	中学校	12歳	81.5	81.2	0.3	81.2	0.3	80.0	1.5	
		13歳	85.1	84.9	0.2	84.8	0.3	83.9	1.2	
		14歳	88.5	88.2	0.3	88.1	0.4	87.0	1.5	
	高等学校	15歳	90.7	90.7	0.0	90.3	0.4	89.9	0.8	
		16歳	91.8	91.7	0.1	91.4	0.4	90.9	0.9	
		17歳	92.7	92.2	0.5	92.0	0.7	91.6	1.1	
	女子	幼稚園	5歳	61.5	61.8	-0.3	61.5	0.0	62.2	-0.7
		小学校	6歳	64.5	64.2	0.3	64.4	0.1	65.1	-0.6
			7歳	67.2	67.5	-0.3	67.3	-0.1	67.3	-0.1
			8歳	70.3	70.3	0.0	69.9	0.4	70.1	0.2
9歳			72.7	73.1	-0.4	72.8	-0.1	72.6	0.1	
10歳			75.5	76.2	-0.7	75.8	-0.3	75.5	0.0	
11歳			79.6	79.8	-0.2	79.3	0.3	78.5	1.1	
中学校		12歳	82.2	82.4	-0.2	82.1	0.1	81.9	0.3	
		13歳	84.2	83.9	0.3	83.8	0.4	83.8	0.4	
		14歳	84.8	85.1	-0.3	84.9	-0.1	84.7	0.1	
高等学校		15歳	85.8	86.0	-0.2	85.5	0.3	85.5	0.3	
		16歳	86.2	85.9	0.3	85.8	0.4	85.4	0.8	
		17歳	86.1	85.9	0.2	85.9	0.2	85.4	0.7	

※30年前(親の世代)は、昭和58年度の数値である。

2 健康状態(疾病・異常の被患率等状況)

(1)前年度との比較

ア 裸眼視力1.0未満

- ・県全体の割合は、幼稚園では前年度より減少し、小学校、中学校及び高等学校では増加している。
- ・男女別でみると、男子、女子ともに、中学校及び高等学校では前年度より増加し、女子においては小学校も増加している。
- ・男女を比較すると、幼稚園を除き、全ての学校区分において女子が男子より高くなっている。

イ むし歯(う歯)

- ・県全体及び男女別でみた男子、女子の割合ともに、全ての学校区分において前年度より減少している。
- ・男女を比較すると、幼稚園及び小学校では男子が女子より高く、中学校及び高等学校では女子が男子より高くなっている。

ウ ぜん息

- ・県全体の割合は、幼稚園では前年度より増加し、小学校、中学校及び高等学校では減少している。
- ・男女別でみると、男子、女子ともに幼稚園では前年度より増加し、中学校及び高等学校では減少している。
- ・男女を比較すると、全ての学校区分において男子が女子より高くなっている。

エ 鼻・副鼻腔疾患

- ・県全体の割合は、中学校では前年度より減少し、幼稚園、小学校及び高等学校では増加している。
- ・男女別にみると、男子、女子ともに中学校では前年度より減少し、小学校及び高等学校では増加している。
- ・男女を比較すると、全ての学校区分において男子が女子より高くなっている。

オ アトピー性皮膚炎

- ・県全体の割合は、幼稚園では前年度より増加し、小学校、中学校及び高等学校では減少している。
- ・男女別でみると、男子の幼稚園で前年度より増加しているほか、全ての学校区分において減少している。
- ・男女を比較すると、全ての学校区分において男子が女子より高くなっている。

表4 前年度との比較(鳥取県)

(単位:%)

区 分		裸眼視力1.0未満		むし歯(う歯)		ぜん息		鼻・副鼻腔疾患		アトピー性皮膚炎	
		平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度
県計	幼稚園	28.4	32.0	33.0	47.3	3.5	1.9	0.4	0.1	4.3	3.6
	小学校	31.0	30.9	57.6	63.2	5.9	6.3	16.4	12.9	5.6	7.1
	中学校	57.8	54.5	45.0	50.1	3.7	4.4	17.6	20.3	3.7	4.6
	高等学校	70.4	66.3	55.3	58.6	2.7	3.3	11.3	8.4	3.2	4.4
男子	幼稚園	26.4	30.7	35.6	45.8	4.3	1.8	0.8	—	4.6	2.8
	小学校	28.0	28.0	60.0	65.3	7.2	8.2	20.6	16.6	6.1	7.6
	中学校	54.3	50.9	42.7	49.0	4.8	5.5	20.7	23.3	3.9	4.9
	高等学校	68.9	63.7	53.6	55.7	3.0	3.7	12.0	10.1	3.3	4.2
女子	幼稚園	x	33.4	30.5	48.9	2.7	1.9	—	0.1	4.0	4.3
	小学校	34.2	33.9	55.2	61.0	4.6	4.4	12.0	9.2	5.0	6.6
	中学校	61.5	58.3	47.5	51.2	2.5	3.3	14.3	17.1	3.5	4.3
	高等学校	71.9	68.8	57.1	61.4	2.3	2.9	10.6	6.7	3.2	4.6

(注)1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。

2 「X」はサンプル数が少なく、誤差が大きい(標準誤差が5%以上)ため統計数値を公表しない。

3 「-」は該当者がいない。

4 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。

(2) 全国平均値との比較

ア 裸眼視力1.0未満

- ・県全体の割合は、全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。
- ・男女別にみると、幼稚園の女子を除き、全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。

イ むし歯(う歯)

- ・県全体の割合は、幼稚園では全国平均値より低く、小学校、中学校及び高等学校では高くなっている。
- ・男女別にみると、男子、女子ともに幼稚園では全国平均値より低く、小学校では高くなっている。

ウ ぜん息

- ・県全体の割合は、全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。
- ・男女別にみると、男子、女子ともに幼稚園、小学校及び高等学校において全国平均値より高くなっている。

エ 鼻・副鼻腔疾患

- ・県全体の割合は、幼稚園では全国平均値より低く、小学校、中学校及び高等学校では高くなっている。
- ・男女別にみると、男子、女子ともに幼稚園では全国平均値より低く、小学校、中学校及び高等学校では高くなっている。

オ アトピー性皮膚炎

- ・県全体の割合は、全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。
- ・男女別にみると、男子、女子ともに全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。

表5 全国平均値との比較

(単位:%)

区 分	裸眼視力1.0未満		むし歯(う歯)		ぜん息		鼻・副鼻腔疾患		アトピー性皮膚炎		
	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	
県計	幼稚園	28.4	24.53	33.0	39.51	3.5	2.13	0.4	3.44	4.3	2.39
	小学校	31.0	30.52	57.6	54.14	5.9	4.15	16.4	12.07	5.6	3.06
	中学校	57.8	52.79	45.0	44.59	3.7	3.22	17.6	11.11	3.7	2.48
	高等学校	70.4	65.84	55.3	55.12	2.7	1.90	11.3	8.74	3.2	2.14
男子	幼稚園	26.4	24.10	35.6	40.88	4.3	2.64	0.8	4.02	4.6	2.59
	小学校	28.0	27.34	60.0	55.89	7.2	5.02	20.6	14.86	6.1	3.34
	中学校	54.3	47.56	42.7	43.11	4.8	3.90	20.7	12.90	3.9	2.70
	高等学校	68.9	61.25	53.6	53.08	3.0	2.18	12.0	9.62	3.3	2.38
女子	幼稚園	x	24.97	30.5	38.09	2.7	1.61	—	2.84	4.0	2.19
	小学校	34.2	33.84	55.2	52.30	4.6	3.24	12.0	9.14	5.0	2.77
	中学校	61.5	58.26	47.5	46.14	2.5	2.51	14.3	9.23	3.5	2.25
	高等学校	71.9	70.53	57.1	57.20	2.3	1.62	10.6	7.86	3.2	1.90

- (注) 1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。
 2 「X」はサンプル数が少なく、誤差が大きい(標準誤差が5%以上)ため統計数値を公表しない。
 3 「-」は該当者がいない。
 4 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。

(3) 30年前(親の世代)との比較

ア 裸眼視力1.0未満

- ・全ての学校区分において30年前より増加している。

イ むし歯(う歯)

- ・全ての学校区分において30年前より減少している。

ウ ぜん息

- ・全ての学校区分において30年前より増加している。

表6 30年前(親の世代)との比較(鳥取県)

(単位:%)

区 分	裸眼視力1.0未満		むし歯(う歯)		ぜん息	
	平成25年度	30年前	平成25年度	30年前	平成25年度	30年前
幼稚園	28.4	7.69	33.0	90.72	3.5	0.26
小学校	31.0	16.19	57.6	95.14	5.9	1.22
中学校	57.8	38.60	45.0	96.40	3.7	0.50
高等学校	70.4	55.43	55.3	97.40	2.7	0.01

- (注) 1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。
 2 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。
 3 30年前(親の世代)は、昭和58年度の数値である。

表7 都道府県別 肥満傾向児の出現率

参考資料

単位 (%)

順位	幼稚園 (5歳)		順位	小学校 (11歳)		順位	中学校 (14歳)		順位	高等学校 (17歳)	
		都道府県名			都道府県名			都道府県名			都道府県名
1	4.70	群馬	1	14.57	北海道	1	12.35	青森	1	14.12	福島
2	4.66	福島	2	14.01	福島	2	11.96	福島	2	14.02	群馬
3	4.29	山形	3	13.26	栃木	3	11.12	岩手	3	13.49	大分
4	4.25	青森	4	12.73	茨城	4	11.04	徳島	4	12.99	大岩手
5	3.88	秋田	5	12.56	山形	5	10.27	宮城	5	12.97	徳島
6	3.83	茨城	6	12.40	秋田	5	10.27	宮崎	6	12.65	青森
7	3.82	宮城	7	12.17	熊本	7	9.91	北海道	7	12.05	栃木
8	3.51	広島	8	11.95	青森	8	9.45	沖縄	8	11.97	宮城
9	3.47	山梨	9	11.47	岩手	9	9.41	岡山	9	11.93	山形
10	3.41	三重	10	11.13	沖縄	10	9.35	山梨	10	11.86	山梨
11	3.39	高知	11	11.07	和歌山	11	9.33	秋田	11	11.20	沖縄
12	3.28	愛媛	12	10.92	宮崎	12	9.22	熊本	12	11.19	和歌山
13	3.27	和歌山	13	10.36	宮崎	12	9.22	大分	13	11.08	秋田
14	3.16	岩手	14	10.24	群馬	14	9.14	山形	14	11.07	岡山
15	3.12	埼玉	15	10.04	鹿児島	15	9.13	群馬	15	10.83	長崎
16	3.04	佐賀	16	9.92	高知	16	9.05	高知	16	10.78	茨城
17	3.00	沖縄	17	9.91	香川	17	8.86	栃木	17	10.71	鹿児島
18	2.96	宮崎	18	9.90	佐賀	18	8.85	茨城	18	10.59	静岡
19	2.87	栃木	19	9.61	山梨	19	8.44	大阪	19	10.36	熊本
20	2.79	徳島	20	9.58	岡山	20	8.39	和歌山	20	10.07	宮崎
21	2.78	大分	21	9.40	徳島	21	8.29	鹿児島	21	9.93	富山
22	2.61	福岡		9.37	全国	22	8.17	香川	22	9.86	佐賀
23	2.60	長崎	22	9.31	富山	23	8.05	広島	23	9.75	島根
23	2.60	鹿児島	23	9.21	石川	24	8.01	東京	23	9.75	高知
25	2.58	香川	24	9.20	大阪		7.85	全国	25	9.58	奈良
26	2.57	福岡	25	9.12	東京	25	7.83	山口	26	9.53	愛媛
27	2.51	熊本	26	9.03	島根	26	7.75	千葉	27	9.47	新潟
	2.43	全国	27	8.98	埼玉	27	7.49	愛媛	27	9.47	香川
28	2.42	島根	28	8.95	神奈川	28	7.42	福岡	29	9.41	北海道
29	2.36	岡山	29	8.89	長崎	29	7.41	京都		9.35	全国
30	2.35	北海道	30	8.85	山口	30	7.34	鳥取	30	9.25	埼玉
31	2.31	新潟	31	8.81	三重	31	7.33	長崎	31	9.18	広島
32	2.23	静岡	32	8.69	岐阜	32	7.29	愛知	32	9.15	山口
33	2.21	東京	33	8.68	新潟	33	7.27	新潟	33	9.08	福岡
34	2.20	長野	34	8.54	長野	34	6.93	富山	34	8.81	愛知
35	2.16	石川	35	8.41	愛知	34	6.93	奈良	34	8.81	京都
36	2.15	奈良	36	8.35	愛媛	36	6.92	静岡	36	8.61	三重
36	2.15	山口	36	8.35	大分	37	6.88	佐賀	37	8.46	長野
38	2.09	徳島	38	7.97	福岡	38	6.44	神奈川	38	8.30	岐阜
39	2.05	千葉	39	7.85	広島	39	6.42	埼玉	39	8.11	福岡
40	1.94	兵庫	40	7.75	福岡	39	6.42	滋賀	40	8.08	滋賀
41	1.89	神奈川	41	7.63	兵庫	41	6.37	長野	41	7.99	大分
42	1.59	大阪	42	7.55	千葉	42	6.18	福岡	42	7.95	神奈川
43	1.54	京都	43	7.29	静岡	43	6.04	岐阜	43	7.84	千葉
44	1.45	岐阜	44	7.13	鳥取	44	5.81	三重	44	7.62	鳥取
45	1.43	愛知	45	7.11	奈良	45	5.74	島根	45	7.60	兵庫
46	1.23	富山	46	6.96	京都	46	5.72	兵庫	46	7.56	東京
47	0.94	滋賀	47	6.46	滋賀	47	4.87	石川	47	6.81	石川

(注) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100 (\%)$$

表8 都道府県別 痩身傾向児の出現率

参考資料

単位 (%)

順位	幼稚園 (5歳)		順位	小学校 (11歳)		順位	中学校 (14歳)		順位	高等学校 (17歳)	
		都道府県名			都道府県名			都道府県名			都道府県名
1	0.98	京 都	1	5.20	京 都	1	3.21	三 重	1	2.69	和 歌 山
2	0.83	岩 手	2	4.70	三 重	2	2.90	高 知	2	2.58	茨 城 道
3	0.81	岡 山	3	4.21	富 山	3	2.88	長 野	3	2.57	北 海 道
4	0.68	千 葉	4	4.14	群 馬	4	2.78	京 都	4	2.56	神 奈 川
5	0.50	鹿 児 島	5	4.02	愛 媛	5	2.72	神 奈 川	5	2.40	山 梨 媛
6	0.49	神 奈 川	6	3.85	長 野	6	2.69	静 岡	6	2.35	愛 媛 井
7	0.47	佐 賀 道	7	3.83	山 梨	7	2.59	滋 賀	7	2.30	福 井
8	0.45	北 海 道	8	3.60	滋 賀	8	2.53	兵 庫	8	2.27	鳥 取
9	0.42	栃 木	9	3.43	北 海 道	9	2.42	奈 良	9	2.19	沖 縄
10	0.41	岐 阜	10	3.31	長 崎	10	2.33	東 京	10	2.17	大 分 京
11	0.39	秋 田	11	3.30	和 歌 山	11	2.32	愛 知	11	2.14	東 福 岡
11	0.39	大 阪	12	3.23	埼 玉	12	2.28	新 潟	12	2.12	福 静 岡
11	0.39	奈 良	13	3.17	奈 良	12	2.28	山 梨	13	2.09	静 岡 野
14	0.38	宮 城	14	3.16	東 京	14	2.25	埼 玉	14	2.04	長 崎 口
14	0.38	福 岡	15	3.09	宮 城	15	2.19	愛 媛	14	2.04	山 崎
16	0.37	広 島	16	3.02	福 井	16	2.17	福 島	16	2.01	長 崎 知
17	0.36	群 馬	17	2.98	岡 山	17	2.15	石 川	17	1.99	高 知 重
17	0.36	山 口	18	2.97	鹿 児 島	18	2.12	岐 阜	18	1.95	三 重 阜
17	0.36	香 川	19	2.96	新 潟	18	2.12	岐 阜	19	1.91	岐 島 根
17	0.36	沖 縄	20	2.95	石 川	19	2.07	島 根	20	1.85	島 根 島
	0.35	全 国	20	2.95	兵 庫	19	2.07	広 島	21	1.79	徳 本 国
21	0.35	埼 玉	22	2.90	青 森	21	2.05	熊 本		1.78	全 国
22	0.34	富 山	23	2.83	宮 崎	22	1.98	岡 山	22	1.76	埼 玉 形
23	0.31	長 野		2.82	全 国	23	1.97	和 歌 山	23	1.73	千 山 形
23	0.31	鳥 取	24	2.79	愛 知	24	1.96	鳥 取	24	1.71	山 山 形
25	0.28	三 重	25	2.68	千 葉	25	1.95	山 口	25	1.67	岡 新 潟
25	0.28	兵 庫	26	2.64	神 奈 川	26	1.90	大 阪	26	1.63	新 潟 大
27	0.26	福 井	27	2.50	佐 賀	27	1.87	栃 木	27	1.62	大 阪 知
28	0.25	石 川	28	2.49	山 口	28	1.85	北 海 道	28	1.59	愛 媛 知
29	0.24	静 岡	29	2.46	鳥 取	28	1.85	山 形	29	1.58	鹿 児 島
30	0.22	青 森	30	2.37	福 島	30	1.84	富 山	30	1.52	福 島 山
31	0.21	東 京	31	2.35	熊 本	30	1.84	長 崎	31	1.44	富 香 川
32	0.20	愛 知	31	2.35	大 分	30	1.84	鹿 児 島	32	1.42	香 川 都
33	0.19	新 潟	33	2.34	茨 城	33	1.81	福 井	33	1.38	京 石 川
33	0.19	滋 賀	34	2.28	沖 縄	33	1.81	徳 島	34	1.32	石 賀 森
35	0.18	徳 島	35	2.23	静 岡	35	1.77	秋 田	35	1.29	佐 賀 森
35	0.18	長 崎	36	2.21	岐 阜	36	1.76	福 岡	36	1.28	青 熊 本
37	0.17	宮 崎	37	2.20	岩 手	37	1.70	青 森	36	1.28	熊 本 島
38	0.15	福 島	37	2.20	高 知	38	1.68	千 葉	38	1.25	広 島 木
39	0.11	愛 媛	39	2.12	大 阪	39	1.67	香 川	39	1.21	栃 滋 賀
39	0.11	熊 本	40	2.04	秋 田	40	1.58	岩 手	40	1.13	滋 賀 田
41	0.10	山 梨	41	2.03	福 岡	41	1.55	群 馬	41	1.03	秋 宮 崎
42	0.06	山 形	42	1.97	広 島	42	1.49	佐 賀	41	1.03	宮 崎 良
43	0.05	大 分	43	1.96	香 川	43	1.45	茨 城	43	1.00	奈 良 手
	-	茨 城	44	1.64	山 形	44	1.44	宮 城	44	0.98	岩 手 庫
	-	和 歌 山	45	1.60	徳 島	45	1.24	沖 縄	45	0.86	兵 庫 城
	-	島 根	46	1.59	島 根	46	1.13	大 分	46	0.80	宮 城 馬
	-	高 知	47	1.46	栃 木	47	0.85	宮 崎	47	0.68	群 馬

(注) 1 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)

2 「-」は該当者がいない。